

1. 会合概要

(1) 開催日:2006 年 5 月 10 日(水)18:40 ~ 20:00

(2) 場所 所在地:東京都豊島区西池袋 2-37-4

会場名:豊島区立勤労福祉会館大会議室

(3) 今回の議長役氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)

(4) 議事録作成者氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)

(5) 今回の幹事氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)、事業継続推進機構(BCAO)理事・
事務局長 細坪 信二(危機管理対策機構)、

(6) 出席者氏名: 14 名

(7) 主要な決定事項

副座長(分科会毎に 1 名ずつ選出予定)

- ・ 情報システム分科会:大塚 純一(日本 IBM)
- ・ バックアップオフィス:未定(次回までに選出予定)

メンバーリスト

分科会内でメンバーリストを作成し配布する事について合意。

幹事

- ・ 次回は富士通。
- ・ 輪番制で実施する。
- ・ 案は座長が作成し、回覧。

テーマ案

- ・ 2 週間後の 5 月 24 日(水)迄に、テーマ案を座長に提出。
- ・ 座長が整理して、次回会合前に分科会メンバーに送付。
- ・ 次回決めるのではなく、少なくとも数回は議論が必要という事で認識を共有。

(8) 次回開催予定

開催日:2006 年 6 月 7 日(水)15:00 ~

場所:所在地:〒144-8588 東京都大田区新蒲田 1-17-25 地図

<http://jp.fujitsu.com/facilities/solutionsquare/>

会場名:富士通ソリューションスクエア Tel: 03-6252-2184

幹事:富士通

2. 議事内容

(1) 運営に関して

- ・ 情報システム分科会とバックアップオフィス分科会は共通事項等が多く、当面は一体となって開催する事とする。
- ・ 他の分科会との連携も考えて行く事を検討。

(2) テーマに関して

- ・ 極めて広い範囲をカバーするテーマであり、目的、ねらいを明確にして取り組む必要がある BCAA だから着手できるテーマとして検討したい。
- ・ 情報システムについて技術だけの話しをするなら、BCAO でなくともよい。IT といっても、基礎技術から、ハード/ソフト、運用、ガバナンス手法と幅広い。さらに、『IT を守る』だけでは無く、災害時の情報共有の様に、『IT を活用して守る』という両面がある。
- ・ 日本においては、バックアップオフィスの普及はまだこれから。

- ・ 主に広域災害を対象とする日本の場合は、欧米の想定とは異なる環境がある。
- ・ 現状調査（国内及び海外ベストプラクティス）から実施する事ではどうか。
- ・ 2～3回は議論を行う必要あり。
- ・ 一度、全体像を整理するところから入る。

以 上

1. 会合概要

開催日:2006 年 6 月 7 日(水)15:00 ~ 17:20

(1) 場所 所在地:〒144-8588 東京都大田区新蒲田 1-17-25

会場名:富士通ソリューションスクエア 地図 <http://jp.fujitsu.com/facilities/solutionsquare/>

(2) 今回の議長役氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)

(3) 議事録作成者氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)

(4) 今回の幹事氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)

(5) 出席者氏名: 13 名

(6) 主要な決定事項

副座長選出:

- ・バックアップオフィス分科会担当: 関山 雄介(大成建設) 今回選出
両分科会の合同開催について

- ・少なくとも次回までは合同開催とする。

メンバーリストの共有:

- ・分科会内でメンバーリストを「データ形式」で配布する事につき合意。

バックアップオフィス関連:

- ・定義検討: 各社案を持ち寄る。

- ・現状把握: 次回お客様の課題・事例を持ち寄り情報共有する。

情報システムのBC対応状況調査:

- ・実施する事について合意。内容・手法等の詳細について今後詰める。

- ・次回開催前に調査が必要と思われる項目を各自検討し、幹事にて取りまとめ次回議題とする。

- ・調査・分析委員会との連携については、理事レベルで調整を行う。

冊子作成について:

- ・中小企業に囚われず、経営者に分かりやすい冊子の作成を検討する。

- ・まずは、全体構成の案を作成する。次回までに叩き台を作成。目次レベルのものを各自持ち寄る。

(7) 今後の開催予定 次回以降は毎月第一水曜日に開催 15:00 ~

	< 日程 >	< 幹事 >	< 開催場所 >
・ 第 1 回	2006 年 05 月 10 日(水)	富士通、BCAO 事務局	豊島区豊島区立勤労福祉会館
・ 第 2 回	2006 年 06 月 07 日(水)	富士通	富士通ソリューションスクエア(蒲田)
・ 第 3 回	2006 年 07 月 05 日(水)	日本 IBM	日本 IBM 箱崎事業所
・ 第 4 回	2006 年 08 月 02 日(水)	大成建設	
・ 第 5 回	2006 年 09 月 06 日(水)	損保ジャパン・リスクマネジメント	
・ 第 6 回	2006 年 10 月 04 日(水)	NEC	
・ 第 7 回	2006 年 11 月 01 日(水)	日立製作所	
・ 第 8 回	2006 年 12 月 06 日(水)	富士通	

開催場所は幹事が提供。場所の詳細は別途。

(8) 次回会合情報

- ・ 次回幹事： 日本 IBM
- ・ 開催日： 2006 年 07 月 05 日(水)
- ・ 場所 所在地：〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21
- ・ 会場名：日本 IBM 箱崎事業所 <http://www.ibm.com/jp/ibm/map/hakozaki.html>
電話番号 03-3586-1111 (IBM グループ番号案内)
- ・ 特記事項等： 事前登録制（会議室には直接行けません） プロジェクター利用可

2. 議事内容

(1) 両分科会の合同開催について

- ・ 近い将来に分離する事を検討。現在は人数が少ない事から合同で実施しているが、目的が違う点多くあるので、テーマが個別案件に落ちた段階で、個別検討に入る事を考える。
- ・ 次回までは合同で開催。

(2) 各分科会の進め方について（座長より説明：別紙資料）

(3) 事例収集について

- ・ 個社名を出す必要が無い。様々な課題毎の対応例を個社名を出さずに収集する。

(4) 用語定義について

- ・ バックアップオフィスの定義が必要。単に物理的なオフィス環境を指すのみでは無く、情報システム・設備・人・その他ファシリティの総合的なバックアップ環境と定義する方が分かりやすい。

(5) 現状調査・アンケートについて

- ・ アンケート・インタビュー共に実施したい。アンケートの後に絞り込みヒアリングを実施する。
- ・ 調査・分析には仮説が必要。調査項目案を次回までに各社より提示する事とする。
- ・ 事例調査分科会との連携が必須であり、当分科会より調査要望項目として提示する事としたい。理事間で調整する。
- ・ バックアップオフィスについては調べにくい。そもそもセキュリティ上、開示したがないケースが多い。

(6) 分科会への期待について：

- ・ 実務担当者としては、BCP 絡みの概論や具体性の無い議論では無く、専門家同士の具体的な課題解決に向けた検討を行いたい。
- ・ バックアップオフィスの選定基準・設備・機能をどう捉えるか。最適化基準、設置基準等の検討に興味がある。

(7) Fact Book（調査結果報告）について

- ・ 位置付け（誰に向けて、どういう目的で）を検討する。会員向けで、今の日本の現状を公開するもの。現状と課題を纏める。
- ・ 事例調査の分科会と連携する。

(8) 情報システム災害対策冊子について

- ・ 分厚くては誰も読まない。出来るだけ少なく分かり易いものが必要。
- ・ セキュリティの冊子等を参考に次回までに座長より目次のたたき台を提示する。

<出席者リスト>

土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
植村 明生 三機工業(株)
山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント
関山 雄介 大成建設(株)
大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)
山下 晋也 日本アイ・ピー・エム(株)
國井 孝昭 日本アイ・ピー・エム(株)
高屋 正裕 日本電気(株)
角田 光弘 (株)日立製作所
齋藤 孝行 富士火災海上保険(株)
伊藤 毅 富士通(株)
折笠 秀明 富士通(株)
向井 健太郎 富士通(株)

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年 7 月 5 日(水)15:00~17:00
- (2) 場所 所在地:〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21
会場名:日本アイ・ビー・エム 箱崎事業所 815 教室
地図 <http://www.ibm.com/jp/ibm/map/hakozaki.html>

- (3) 今回の議長役氏名:事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)
- (4) 議事録作成者氏名:バックアップオフィス分科会 山浦 政弘(IBM)
- (5) 今回の幹事氏名:情報システム分科会副座長 大塚 純一(IBM)
- (6) 出席者氏名:15 名
- (7) 主要な決定事項と内容

今回新しく加入された方の自己紹介:

- ・ 中西 弘英(みずほ証券株式会社)
- ・ 永江 豊(株式会社日立製作所)
- ・ 笠原 誠(大成サービス株式会社)

臨時総会/セミナーについて(向井):

- ・ 700 名枠で、まだ 400 名なので、まだ余裕あり・・・というか少ないので、1 社 10 名までの枠は、撤廃していますので、引き続きセミナー参加者の勧誘をお願いいたします。

総括委員会フィードバック(向井):

- ・ 総括委員会で、IT/バックアップオフィス分科会の活動、第 1 回会合の報告「バックアップオフィス」という言葉は、英語に無い。適当な名前を考えること。場合によっては、分科会の名前を変更するようにとの依頼を受けた。
 - 「バックアップオフィス」という名前の変更について、良い名前案があれば ML に投稿してください(伊藤)
- ・ 調査分析は、他の分科会でも実施したいとの要望があるので、企業などにアンケート等は独自に出さないようにすること。他の分科会との連携を取るために総括委員会で統制を取ります。
 - 調査などは、実際にいつ頃/どうやってやるのか(大塚)

前回の総括委員会では、そこまで討議できなかった。早急に検討することとしたが、具体的な日程は決まらなかった

分科会での活動目標/テーマ:

- ・ 次のようなものが挙げられた
 - 情報システムとオフィスの共通テーマを見出すことができないか?
 - 事例を調べることをやってみたい
 - バックアップオフィスでロケーションをどこのするのか?
 - 経営層に、BCP/BCM をアピール/理解してもらうような宣伝活動

まずは、現状調査/事例収集を行うこととする。

調査項目を列挙する。まずはバックアップオフィスのみで検討して ML にて、21 日までに ML に投稿すること。

情報システムに対する冊子の作成について:

- ・ 経営層向けであれば、10 ページ以下にまとめる方が良い。
- ・ 事例/小冊子ネタを集めて、次回の会合で精査することとする。事例小冊子ネタを 7 月 31 日までに ML に投稿すること。

MLについて

- ・ 2つの分科会でMLを分けていたため、定例会合出欠の出欠がうまく取れなかった。
- ・ しばらくは情報システム分科会とバックアップオフィス分科会を合同で行うこととするので、どちらかのMLにメンバーを両方登録するか、新しいMLを作成するか検討する。後日連絡予定。(向井)

(8) 今後の開催予定 次回以降は毎月第一水曜日に開催 15:00～

	< 日程 >	< 幹事 >	< 開催場所 >
・ 第1回	2006年05月10日(水)	富士通、BCAO事務局	豊島区豊島区立勤労福祉会館
・ 第2回	2006年06月07日(水)	富士通	富士通リユージョンスクエア(蒲田)
・ 第3回	2006年07月05日(水)	日本IBM	日本IBM箱崎事業所
・ 第4回	2006年08月02日(水)	大成建設	新宿区新宿センタービル
・ 第5回	2006年09月06日(水)	損保ジャパン	
・ 第6回	2006年10月04日(水)	NEC	
・ 第7回	2006年11月01日(水)	日立製作所	
・ 第8回	2006年12月06日(水)	富士通	

開催場所は幹事が提供。場所の詳細は別途。

(9) 次回会合情報

- ・ 次回幹事： 大成建設
- ・ 開催日： 2006年08月02日(水) 15:00～
- ・ 場所 所在地：〒163-0606 東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
- ・ 会場名：大成建設
電話番号：03(3348)1111(代表)
- ・ 特記事項等：

< 出席者リスト >

伊藤 毅 富士通(株)
折笠 秀明 富士通(株)
向井 健太郎 富士通(株)
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
関山 雄介 大成建設(株)
松永 文彦 大成建設(株)
笠原 誠 大成サービス株式会社
高屋 正裕 日本電気(株)
角田 光弘 (株)日立製作所
永江 豊 (株)日立製作所
中西 弘英 みずほ証券株式会社
齋藤 孝行 富士火災海上保険(株)
大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)
山下 晋也 日本アイ・ピー・エム(株)
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年 8 月 2 日(水)15:00~17:00
- (2) 場所 所在地:〒163-0606 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル
会場名:大成建設本社ビル18階会議室202号
- (3) 今回の議長 : 事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅 (富士通)
- (4) 議事録作成 : 関山 雄介(大成建設)
- (5) 出席者氏名 : 13 名
- (6)

<出席者リスト>

伊藤 毅 富士通(株)
太田氏(向井様の代理出席) 富士通(株)

(情報システム分科会)

土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
折笠 秀明 富士通(株)
小澤 仁 日本アイ・ピー・エム(株)
山下 晋也 日本アイ・ピー・エム(株)
中西 弘英 みずほ証券(株)

(バックアップオフィス分科会)

笠原 誠 大成サービス(株)
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)
植村 明生 三機工業(株)
池田 竜隆 (株)ワンビシアーカイブズ(新メンバー)
三友 和雄 大成サービス(株)(新メンバー)
関山 雄介 大成建設(株)

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第 4 回会合 アジェンダ
- 2) 第 3 回会合 議事録
- 3) 情報システム、バックアップオフィス分科会名簿
- 4) 「バックアップオフィス」の名称変更検討について
- 5) バックアップオフィス分科会 アンケート調査項目
- 6) 小冊子ネタ「災害時に何が起きるか(オフィス編)」(大成建設)
- 7) 「IBM が考える事業継続検討の 6 つの領域」(日本アイ・ピー・エム)

(2) 新メンバーの紹介(上記出席者リスト参照)

(3)BCAO の活動状況について

- ・7 / 10の記念セミナー以降、会員数が急増中
- ・資格制度は進行中
- ・対外的な活動も進行中

(4)「バックアップオフィス」の名称変更検討について

バックアップオフィスについて

- ・生産設備や情報システムのバックアップを考えるだけでなく、本社中枢機能の代替機能を考える必要がある

名称案について

- ・リカバリーサイトでは範囲が広すぎる
- ・単純に事務作業を行う場と考えるとすっきりする
- ・業種業態によって代替する機能が異なる
- ・「バックアップオフィス」でも欧米で通用する

分科会としては「バックアップオフィス」を名称とする

「重要な業務を運営する事務所が、自然災害やテロ・事故等で使用不能となった場合に、あらかじめ確保した事業を継続するための機能を備えた場所」

検討：オフィスだけではなく、幅広く対象としたい

- ・オフィスに限らず、例えば町工場が実際にどうBCPに対応すれば良いのかを考えるのもBCAOの役割ではないか

各分科会の調査結果を踏まえ、BCAOとしてどのように情報発信していくかを考える役割が必要ではないか。

- ・BCAO全体の再整理を行い、その上でバックアップオフィス分科会のSCOPEを設定する

(5) アンケート調査項目について

項目の設定について

- ・「BCPを導入していますか」という問いかけは、何をもちてBCPに対応しているかの判断が難しい
- ・アンケートでは金融業のBCP導入率は高いが、コンティジェンシープランだけで、BCPを導入した事になるか。
- ・「緊急時のアクションについて何か規定しているか」や「ビジネスインパクト分析を行っているか」など、BCPに必要な項目を実施しているか1つ1つ質問する事も考えられる
- ・質問項目は多岐にわたり、答える担当が異なる場合もある
- ・会社の規模や業種業態により質問項目が異なる場合もある

段階的な調査が望ましい

- ・最初は経営に近い部署に単純に「BCPを導入しているか、していないか」を聞く
- ・導入している場合に各担当者に答えてもらえるような段階的に質問項目が詳細になるアンケートだと良い

どのような手法で段階を踏むか、誰を対象にするかを今後整理する

アンケートに参加していただいた企業にインセンティブが必要

- ・例えば、アンケートの集計結果から他社とのベンチマーク結果を提供するなど

アンケートは年2回程度で継続したい

アンケートへの追加項目・意見はメーリングリストに18日までに投稿していただく

質問項目は取捨選択せず、全て事例調査研究分科会に渡し、彼らに整理してもらう

・アンケートの趣旨がこちらの思いとかけ離れないようにする

3. 次回会合

開催日： 2006年 9月15日（金）15:00～17:00

会 場： 富士通ソリューションスクエア

S棟(ソリューション棟) 3階 S R316

(S棟2階にて受付後、3階S R316にお越し願います。)

〒144 8588 東京都大田区新蒲田1-17-25

地図 <http://jp.fujitsu.com/facilities/solutionsquare/>

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年 9 月 15 日(金)15:00~17:00
- (2) 場所 所在地:〒144-8588 東京都大田区新蒲田 1-17-25
会場名:富士通ソリューションスクエア S 棟(ソリューション棟) 3 階 S-R316
- (3) 今回の議長: 事業継続推進機構(BCAO)理事 伊藤 毅(富士通)
- (4) 議事録作成: 山本 匡(損保ジャパン・リスクマネジメント)
- (5) 出席者氏名: 15 名
- (6)

<出席者リスト>

伊藤 毅 富士通(株)
向井 健太郎 富士通(株)
太田 智久 富士通(株)

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
長嶋 和広 (株)ワンピシアーカイブズ(新メンバー)
本間 直哉 (株)シーイーシーソリューションズ(新メンバー)
松永 文彦 大成建設(株)
山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント
吉田 博彦 伊藤忠エネクスサポート(株)

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株)
池田 竜隆 (株)ワンピシアーカイブズ
川村 丹美 (株)シーエーシー(新メンバー)
三友 和雄 大成サービス(株)
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第 5 回会合 アジェンダ
- 2) 第 4 回会合 議事録
- 3) 情報システム、バックアップオフィス分科会名簿
- 4) 情報システム、バックアップオフィス分科会のこれまでの活動について
- 5) 「バックアップオフィス」の名称変更検討について
- 6) アンケートの実施手法案
- 6) 調査項目(案)
- 7) 「IBM が考える事業継続検討の 6 つの領域」(日本アイ・ピー・エム)

(2) 新メンバーの紹介(上記出席者リスト参照)と座長より活動概要の説明

(3)BCAO の活動状況について(事務局)

- ・意見交換会の実施状況(テーマ設定での討議、意見が活発で生の声も多い)
- ・資料の「ブリーフケース」での運用
- ・本分科会の構成人数も大きく増加

(4)アンケート調査項目について

- ・「情報システム」など、回答者側と共通の認識とならない可能性あり。定義が必要か？
- ・質問数は、20 問程度を想定
- ・アンケートにて、「ヒヤリング訪問先を見つけ面談調査を行いたい。」
- ・調査項目については、メーリングで一度意見集約し、体系化の上、分科会意見をまとめる。
- ・情報系のアンケート結果は各種あるが、バックアップオフィスはない。早めの調査が必要。
- ・海外事例、公表データなどの情報共有が必要 次回会合で持ち寄り。

(5)その他

- ・分科会活動目的の「個人」は、当分科会では違和感あり。 BCAA 設立趣旨ベース。今後検討。
- ・分科会活動での開示情報の範囲は？ 各社の基準による。企業名・氏名等は出さないほうが良い。
- ・現在は、アンケートや調査などを行っているが、各メンバー興味にも答えて行きたい。
- ・各プレーヤーが絡める様に BCP プロジェクトの標準的な推進手順も検討したい。(要望)
- ・経営者の背中を押すような動機付けの簡便な被害想定ツールも検討したい。(要望)

3. 次回会合

開催日： 2006年 10月4日(水) 15:00～17:00

会 場： NEC 森永プラザビル

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=4&pg=1&ino=BA363572&grp=nec>

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年10月 4日(金)15:00 ~ 17:00
- (2) 場所 所在地:〒108-8425 東京都港区芝五丁目 33-1
会場名:日本電気株式会社 森永プラザビル 22階 2215号
- (3) 今回の議長 : 大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)
- (4) 議事録作成 : 高屋 正裕(日本電気株式会社)
- (5) 出席者氏名 : 17名

(6)

<出席者リスト>

向井 健太郎 富士通(株)	分科会事務局
太田 智久 富士通(株)	分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)	副座長
折笠 秀明 富士通株式会社	
小澤 仁 日本アイ・ピー・エム株式会社	
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)	
永江 豊 株式会社日立製作所	
長嶋 和広 (株)ワンビシアーカイブズ	
本間 直哉 (株)シーイーシーソリューションズ	
吉田 博彦 伊藤忠エネクスサポート(株)	
木村 義昭 日本ビジネスコンピューター(株)(新メンバー)	
伊藤 壽朗 株式会社イーステムコミュニケーションズ(新メンバー)	
高屋 正裕 日本電気株式会社	

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株)	副座長
池田 竜隆 (株)ワンビシアーカイブズ	
植村 明生 三機工業株式会社	

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第6回会合 アジェンダ
- 2) 第5回会合 議事録
- 3) 事業継続マネジメント(BCM)サーベイ 2006
- 4) BCAO 総括委員会・運営会議について
- 5) 調査「防災マネジメントによる企業価値向上に向けて」
- 6) アンケート項目一覧
- 7) アンケートについて

(2)新メンバーの自己紹介(上記出席者リスト参照)

(3)事業継続マネジメント(BCM)サーベイ 2006 の紹介(説明:大塚様)

サーベイ内容については、回答している企業の業種や、アンケートの回答率(4452社に質問票を郵送して回答数 274社(6.7%))に留意する必要がある。

(4)BCAO 総会について(事務局)

- ・ アンケート希望の分科会が複数あり、調整必要。タスクフォースでリードして検討する。
- ・ ホームページについて、メンテを細坪さんが一人で対応している。
タスクフォースを作って組織的な対応を検討。
- ・ 参加委員数が増えてきた。分科会の再構成を議論する必要あり。
- ・ 大阪セミナーについて
- ・ 資格試験について
- ・ 名簿について

(5)調査「防災マネジメントによる企業価値向上に向けて」(事務局)

他のアンケートと整合性をとってゆく必要あり。

(6)アンケートについて

- ・ 規模については、まだ議論していない。但し、量より質(ヒアリング)に重点をおきたい。
- ・ 経営層など役割別に質問項目を分類した。
- ・ 経営層とシステム担当者に絞ってもよいのではないか、もしくは総務だけに聞くなど。
- ・ アンケート全体については調査分科会が纏める。ITBO のアンケート項目でほとんど網羅してしまう可能性あり。優先順位を決める必要あり。
- ・ 本アンケートはタスクフォースにあげる。
- ・ アンケートの依頼方法について、団体(経団連など)に依頼するのほひとつの方法ではないか。
- ・ アンケートの依頼方法については、各分科会に考えを聞いてみる(アンケートをとる)のがよいのではないか。
- ・ 担当者数など、BCP 実施の規模をアンケートしたい。
- ・ BCらしくとの理事長のコメントに対して、本アンケートはかなっているのか? DR 色が強いのでは。
- ・ バックアップオフィスの質問が足りないので補充する。
- ・ 会社規模を見直す。
- ・ アンケート対象を地区でわけ(関東など)。

(7)その他

- ・ KPMG のサーベイのようなアンケート事例が他にないか、情報提供をお願いしたい。
政策投資銀行のサーベイ結果については各自、Web 上で内容を確認。
既存のアンケート結果を見れば、アンケートの問題点等が明確になる。
- ・ 小冊子の作業は停滞している。
- ・ 建設業界の BCP ガイドラインは見直している最中。
- ・ 外から人を招いてプレゼンして頂く等も含めて希望があればあげて欲しい。
- ・ バックアップオフィスは、そもそも現実的なものなのか疑問がある。
支店で対応できる場所は不要だが、拠点が 1 箇所しかない場合はオペレーションが必要なためバックアップオフィスが必要。
業務・業態でバックアップオフィスの特色がありそう
- ・ バックアップオフィスの内容(設備)について、範囲を明確にしたい。

IT系を含まないオペレーション系と定義したはず。

アンケートで業種・業態に必要な設備をアンケートに回答してもらえばよい。

- ・ 用語定義のタスクフォースは10月末にむけて作業中。
- ・ バックアップオフィスの用語定義について、ブリーフケースを活用して議論したい（来週の金曜日まで）
- ・ アンケートへの追加についても意見を出して欲しい（来週の金曜日まで）
- ・ アンケートのタスクフォースへの参加者についても希望者があれば（来週の金曜日まで）

3. 次回会合

開催日： 2006年 11月 1日（水）15:00～17:00

会 場： 日立製作所

次々回 12月の会合で懇親会（忘年会）実施予定

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年11月1日(水)15:00~17:30
- (2) 場所 所在地:東京都千代田区丸の内1-6-6
会場名:(株)日立製作所 日本生命丸の内ビル 23階 第5会議室
- (3) 今回の議長 : 向井 健太郎 富士通(株)
- (4) 議事録作成 : 永江 豊 (株)日立製作所
- (5) 出席者数・氏名 : 14 名

<出席者リスト(敬称略)>

向井 健太郎 富士通(株) 分科会事務局
太田 智久 富士通(株) 分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株) 副座長
折笠 秀明 富士通(株)
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
伊藤 嘉朗 (株)イーステムコミュニケーションズ
長嶋 和広 (株)ワンピシアーカイズ
高屋 正裕 日本電気(株)
永江 豊 (株)日立製作所

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株) 副座長
池田 竜隆 (株)ワンピシアーカイズ
植村 明生 三機工業(株)
三友 和雄 大成サービス(株)
羽仁 洋 大和ハウス工業(株)(新メンバー)

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第7回会合 アジェンダ
- 2) 名簿
- 3) 第6回会合 議事録
- 4) 座長/副座長/事務局会議について(ご報告)
- 5) アンケートにおける用語関連
- 6) B C A O 運営会議報告
- 7) アンケート案
- 8) テキストの追加案(第3章)
- 9) 小冊子について

(2)新メンバーの自己紹介(上記出席者リスト参照)

(3)「ワンピシアーカイズ様におけるBC / DRのソリューションのご紹介」(説明:長嶋様)

(4) 運営関連の報告

(4-1) 座長/副座長/事務局会議

- ・標準的な用語は標準化分科会と連携して押さえる。ただし、標準化分科会はあくまでも初級者用のため、両分科会特有の用語については当分科会で押さえる。
- ・アンケートタスクフォースが参集されることが改めて確認された。
- ・分科会のプレゼンは各社の知見、総合力の披露を期待したい。発表内容は分科会の趣旨に沿ったものをお願いする。

(4-2) B C A O 運営会議

- ・12月予定のプレテストについては、参加者の募集がかかる予定。

(5) テキストについて

- ・第3章 追加分のチェックを各自お願いする。指摘、コメントなどあれば、11月2日(木) 昼ごろまでに、事務局(向井様)へメールすること。

(6) アンケートについて

- ・アンケートタスクフォースへは、両出席者(関山様・土橋様)から上げてもらう。
- ・実施方針等についてはタスクフォースにて再度検討する。

(7) 小冊子について

- ・目処は3月にしたい。(仮ターゲット)
- ・全体リーダをワンビシアーカイブズの池田様、長嶋様とする。座長、副座長、事務局が補佐する。
- ・本日の参加者でのグループ割り振りは以下の通り。ただし、B、Cのグループリーダは別途個別に相談する。以下、担当割：
A：ワンビシアーカイブズ(池田様、長嶋様) 座長・副座長、事務局
B：バックアップオフィス分科会
C：情報システム分科会
欠席者についても自動的に所属分科会に応じて、B、Cをそれぞれ担当していただく。
- ・小冊子のフォーマット(形式)のイメージ案を大成建設の関山様にご検討いただく。併せて、メーリングリストでも案を募集する。
- ・次回までをお願いしたいこと、宿題などを、全体リーダよりメールで配信する。

(8) その他

- ・分科会の開始時刻について、勤務時間内、勤務時間外の両方の要望あり。隔月交代でやる等、事務局で方針を出す。
案：奇数月は15時開始、偶数月は18時開始

3. 次回会合

開催日： 2006年 12月 6日(水) 16:00～

次回幹事： 富士通

会場： 富士通ソリューションスクエア

S棟(ソリューション棟) 3階 S-R316

東京都大田区新蒲田 1-17-25

- 会合後、懇親会の予定。会費5千円～6千円。

4. その他： <欠席者リスト(敬称略)> 31名

(情報システム分科会)

伊藤 毅 富士通(株) 座長
芥川 立夫 (株)日立製作所
五十嵐 健二 (株)リスク・マネッジ
今井 雅文 沖電気工業(株)
川口 正起 大和ハウス工業(株)
木村 公秀 EMC ジャパン(株)
木村 義昭 日本ビジネスコンピューター(株)
小澤 仁 日本アイ・ピー・エム(株)
小林 重樹 (株)日立製作所
小森 國隆 ソフトバンク BB(株)
齋藤 孝行 富士火災海上保険(株)
高橋 良治 (株)CSKシステムズ
財部 透 アビームコンサルティング(株)
中西 弘英 みずほ証券(株)
中村 全孝 沖電気工業(株)
藤原 史人 (株)プロティビティジャパン
本間 直哉 (株)シーイーシーソリューションズ
前田 耕一 日本ユニシス(株)
松永 文彦 大成建設(株)
森原 徳一郎 銀泉保険コンサルティング(株)
山越 清隆 アビームコンサルティング(株)
山下 晋也 日本アイ・ピー・エム(株)
山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント
吉田 博彦 伊藤忠エネクスサポート(株)

(バックアップオフィス分科会)

井上 和仁 (有)井上企画
笠原 誠 大成サービス(株)
川村 丹美 (株)シーエーシー
國井 孝昭 日本アイ・ピー・エム(株)
佐藤 茂夫 日本ユニシス(株)
角田 光弘 (株)日立製作所
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年12 月 6 日(水)16:00 ~ 18:20
- (2) 場所 所在地: 東京都大田区新蒲田 1 -17 -25
会場名: 富士通ソリューションスクエア S R315
- (3) 今回の議長 : 伊藤 毅 富士通(株)
- (4) 議事録作成 : 砂原 健利 富士通(株)
- (5) 出席者数・氏名 : 18 名

<出席者リスト(敬称略)>

伊藤 毅 富士通(株)	座長
向井 健太郎 富士通(株)	分科会事務局
砂原 健利 富士通(株)	分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)	副座長
折笠 秀明 富士通(株)	
木村 義昭 日本ビジネスコンピューター(株)	
高屋 正裕 日本電気(株)	
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)	
長嶋 和広 (株)ワンビシアーカイブス	
本間 直哉 (株)シーイーシーソリューションズ	
山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント	
吉田 博彦 伊藤忠エネクスサポート(株)	

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株)	副座長
池田 竜隆 (株)ワンビシアーカイブズ	
市村 健一 富士通(株)	
川村 丹美 (株)シーエーシー	
羽仁 洋 大和ハウス工業(株)	
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)	

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第 8 回会合 アジェンダ
- 2) 名簿
- 3) 第 7 回会合 議事録
- 4) 標準テキスト (ITBO 分担部分)
- 5) 年間スケジュール計画 (案)
- 6) プレゼン発表履歴一覧表
- 7 - 1) アンケート案統合案
- 7 - 2) アンケート調査項目案 (ITBO 分科会)
- 8 - 1) 小冊子テンプレート案
- 8 - 2) 小冊子の進め方について (前回配布資料)

(2)新規参加者のご紹介・退会のご通知（順不同）

新規＜バックアップオフィス分科会＞

- ・三上 上 様（富士ゼロックス神奈川株式会社）
- ・市村 健一 様（富士通株式会社）

退会＜情報システム分科会＞

- ・芥川 立夫 様（株式会社日立製作所）

(3)BCAO 運営会議の報告 事務局報告事項

初級管理者試験（テキスト・用語・問題集）について

- ・プレテスト・・・12/12（火）に実施予定
- ・ITBO 分科会担当分の標準テキスト・・・標準分科会にて討議した結果、初級者向けということで簡潔にまとめる方がいいという指摘あり。基本的内容を変更せず4ページ 2ページに圧縮し、座長・副座長に確認のうえ標準分科会に提出済。
- ・標準テキスト/用語・・・バックアップサイトの言葉の定義があいまい（生産ライン工場等の代替場所もバックアップオフィスに含まれる内容）であったため、大きく分類を「バックアップオフィス」「バックアップ情報システムセンター」「その他バックアップサイト」の3つに変更。
- ・用語・・・引き続きタスクフォースメンバーにご調整頂き、調整会議の場等で討議していく予定。

(4)プレゼンテーション

「システムセンター移転および災害対策システム 構築事例のご紹介」

ご説明：日本アイ・ビー・エム(株) 山浦様

- ・作成したプレゼン発表一覧表について
当分科会にて発表された内容(題)を一覧表に記載し、今後ポータルサイトに登録する旨通知。

(5)アンケートについて

調整会議の内容につき、エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株) 土橋様よりご報告

- ・調整会議の結果、当分科会の調査項目案および各分科会のアンケート案を盛り込み、統合アンケートを来年初頭に実施する予定。
- ・調査・分析委員会として、本アンケートはプレテスト的な位置づけでやりたい(実施対象企業は分科会所属メンバーが主体)という意向であるが、対象企業ほか、集計方法・送付方法等詳細につき、今後アンケート調整会議等の場で検討する予定。
- ・本心配布のアンケート統合案を各自確認のうえ、12/8(金)までに土橋様宛にご意見頂きたい(12/11(月)に案として調査・分析委員会に提出予定)。 12/11(月)土橋様より提出済

(6)小冊子について

- ・アンケートのように調査・分析委員会との食い違いが起こらないよう、事前に当分科会にて作成している小冊子の構成・骨子につき、運営会議等の場で伊藤座長より確認する。
- ・下記小冊子作成の留意点/皆様からのご意見/本心配布のテキストも参考のうえ、リーダーを中心として各グループにて要検討
A グループ 小冊子案の1, 2, 3, 6, 7項目
B グループ 小冊子案の5項目
C グループ 小冊子案の4項目

【小冊子作成の留意点】 暫定的に以下事項にて進める事を合意

- ・ 書式について
質問と回答が表記しやすいという点、図が入っても見やすい点より、A4 タテで作成。
- ・ フォントについて
全体のバランスを見て決める（何パターンか作成して、最終的に統一）
- ・ 表現のトーン
長嶋様が作成された小冊子案の問いかけるような柔らかい表現のトーンを踏襲する。
- ・ ボリュームについて
(1) 内容としては、さらっと流せて読めるレベル（5分程度で読めるもの）としたい。
(2) 各グループ、作成するページ数としては5ページを目処とする。
(3) 小冊子形式にするのであれば、総ページ数を4の倍数で作成するといいい。

小冊子作成に関する皆様からのご意見

- ・ 当該小冊子は意識啓発のための資料であって、当初小冊子の進め方にあった概要図・メリット・デメリットにページを割くのは厳しい。対策は限られるので、簡潔に（イラストをのせ、分かりやすくし、例えばホットスタンバイ・コールドスタンバイといったレベル）にまとめるのがよいのでは。
- ・ オフィスに関しては、デメリット・漠然とした気付きを与える構成とするか、関山副座長案のように、地震が発生した際の詳細なリスク一覧表を見せるという方法もある。「オフィスの敵」というキーワードを使って一覧にするのはどうか。
- ・ 予防/減災という観点での議論も必要
- ・ バックアップオフィスの検討を促すことが目的としても、色々な施策（例：災害が発生した際にはまずホテルに集合といった具体的なアクション等）を例示することも必要。対策をチェック形式で行えるといった、興味を引くような形式にしてはどうか。

(8)その他

- ・ 年間スケジュールについて
来年度以降、開催日については毎月第一水曜日から第一木曜日()に変更し、開始時刻については隔月交代(奇数月は15時開始、偶数月は18時開始)とする。
()ただし、07年1月度については第二木曜日
- ・ 幹事について
 - ・ 原則、持ち回りにて幹事を担当
 - ・ 07年1月は富士通が担当し、2月はIBM・3月は大成建設が担当
 - ・ 4月以降の幹事については調整中。ご協力頂ける方々については事務局までご連絡頂きたい旨通知。

3. 次回会合

開催日： 2007年 1月 11日（木）15:00～

次回幹事： 富士通

会場： 富士通ソリューションスクエア

S棟（ソリューション棟）3階 S-R315

東京都大田区新蒲田 1-17-25

4. その他： <欠席者リスト(敬称略)> 28名

(情報システム分科会)

五十嵐 健二 (株)リスク・マネッジ
伊藤 壽朗 (株)イ - ステムコミュニケ - ションズ
今井 雅文 沖電気工業(株)
川口 正起 大和ハウス工業(株)
木村 公秀 EMC ジャパン(株)
小澤 仁 日本アイ・ピー・エム(株)
小林 重樹 (株)日立製作所
小森 國隆 ソフトバンク BB(株)
齋藤 孝行 富士火災海上保険(株)
高橋 良治 (株)CSKシステムズ
財部 透 アビームコンサルティング(株)
永江 豊 (株)日立製作所
中西 弘英 みずほ証券(株)
中村 全孝 沖電気工業(株)
藤原 史人 (株)プロティビティジャパン
前田 耕一 日本ユニシス(株)
松永 文彦 大成建設(株)
森原 徳一郎 銀泉保険コンサルティング(株)
山越 清隆 アビームコンサルティング(株)
山下 晋也 日本アイ・ピー・エム(株)

(バックアップオフィス分科会)

井上 和仁 (有)井上企画
植村 明生 みずほ証券(株)
笠原 誠 大成サービス(株)
國井 孝昭 日本アイ・ピー・エム(株)
佐藤 茂夫 日本ユニシス(株)
角田 光弘 (株)日立製作所
三上 上 富士ゼロックス神奈川(株)
三友 和雄 大成サ - ビス(株)

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日 : 2007年1月11日(木) 15:00 ~ 17:10
- (2) 場所 所在地 : 東京都大田区新蒲田 1-17-25
会場名 : 富士通ソリューションスクエア S-R315
- (3) 今回の議長 : 伊藤 毅 富士通(株)
- (4) 議事録作成 : 砂原 健利 富士通(株)
- (5) 出席者数・氏名 : 17名

<出席者リスト(敬称略)>

伊藤 毅 富士通(株)	座長
向井 健太郎 富士通(株)	分科会事務局
砂原 健利 富士通(株)	分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(株)	副座長
木村 義昭 日本ビジネスコンピューター(株)	
小澤 仁 日本アイ・ピー・エム(株)	
土橋 直通 エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)	
永江 豊 (株)日立製作所	
長嶋 和広 (株)ワンピシアーカイズ	
山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント	

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株)	副座長
池田 竜隆 (株)ワンピシアーカイズ	
市村 健一 富士通(株)	
川村 丹美 (株)シーエーシー	
羽仁 洋 大和ハウス工業(株)	
山浦 政弘 日本アイ・ピー・エム(株)	
三上 上 富士ゼロックス神奈川(株)	

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第9回会合 アジェンダ
- 2) 分科会メンバーリスト
- 3) 前回議事録(第8回)
- 4) 初級テキスト(ITBO 担当部分)
- 5) アンケート関連資料
- 6) 小冊子について(総括委員会・運営会議報告資料)
- 7) 小冊子の方向性について(了解事項・役員よりのアドバイス)

(2) 会員メンバーについて

- ・活動人員計 : 46名(1月11日時点) (配布資料2参照)
- ・新規参加者のご紹介
三上 上様 富士ゼロックス神奈川(株)

(3)総括委員会・運営会議の報告について 事務局報告事項

運用ルールの変更(案)について

- ・「幹事」職(仮称)の創設
理事の負担の軽減が狙い。権限委譲を検討。
- ・分科会の構造・体系等を見直し、分科会配下に部会等の設置を許可することを検討
- ・「顧問」職の創設
現在は理事長が案詳細を作成中。3月末設置をめざし、今後運営会議等で検討していく。

初級テキストについて

- ・ITBO 分科会担当分の標準テキスト・・・1/17(水)リリースに向け、12/25(月)標準分科会にて討議の結果、再度テキストを見直し。レイアウト、表現等を変更し、2頁 3頁に変更。(配布資料4)

(4)プレゼンテーション 永江様(日立製作所)

「災害に対する日立の取組みとBCMソリューション」

(質疑応答・意見・議論等)

質問: 自社における取組みとお客様の事業継続に対する取組み状況は?

回答: [委員A] 現在、社内事業グループ全体の方針を固めるべく、見直しを行なっている。

お客様については、個別の引き合いがあった場合に対応している。

回答: [委員B] 自社内でも様々な事業グループがあるが、扱う製品・サービスが多岐に渡っている為に、事業継続に対する考え方も異なっている。事業グループ全体の規約のようなものは無い。

質問: お客様にはどこまでサービスを提供できるか。

回答: お客様にご提供するサービスの範囲に関しては、情報システムセンターとして果たすべき責任の部分と、付加価値分の対価(お金)を頂くという部分がある。今までは、お客様との契約において自然災害は免責事項であったが、BCに焦点が当てられている中、今後は、災害時に保障する事項に関して踏み込んだ議論が必要だ。

質問: お客様とのSLAに関わる話だが、対応の優先順位はどのように決定するのか。お客様から問われるケースがある。

回答: SLAに関して、お客様の求める期待値と情報システムセンターの実態には差がある。仮にお客様が求める要求が高い場合には、その対価としてサービスへの価格に反映するしかないと考える。BCにおけるSLAのあり方を、お客様側・提供側がいるこの分科会でSLAに関して検討するのは良いと考えだと思ふ。

質問: 各社各様のやり方・考え方がある点と、「どういう時は来てくれる」、「来てくれない」といった保障事項がはっきり決まっていない(決められない)為、お客さまからBCに関する要望が高くなっているのではないか。

回答: お客様のBCに係る製品・サービスの提供者としては、優先的に対応すべきお客様に関する考え方について、議論し、認識を広める/共有するという取り組みは重要だと思われる。ひとつの考え方として、災害対応に係わる機関や、医療機関などの公共機関等のお客様等への対応は優先順位が比較的高いと思われる。また、一般のお客様から公共性の高い同等レベルの対応を求められるケースも考えられるが、そういった企業への対応については自社の社会的責任や契約条件や事業環境と照らし合わせ考えるべきである。

意見： 欧米と日本では、事業継続の発想が異なっていると感じている。欧米は災害に対しバックアップのみを考える風潮となっているが、日本の場合は地震という広域災害を元にバックアップを考えるという点に加えて運用面のデザインも必要となっており、BC の考え方が複雑化している傾向にあると感じる（欧米・海外の事例にとらわれないユニークな BC を作り出す必要がある）。

(5) アンケートについて 土橋様（エヌ・ケイ・リスクコンサルティング）

- ・ 先日調査・分析委員会へ提出したアンケート案につき、丸谷理事長から各項目に対するコメントがあった。最終的な調整は ITBO 分科会及び調査・分析委員会に任せるとの事。
- ・ 本日報布のアンケート統合案を修正のうえ、1/12(金)に土橋様より ITBO 分科会メンバーに送付。コメント等がある場合、1/16(火)までに提出 (ITBO 分科会担当部分の修正案として、今後、調査・分析委員会と調整予定)。

(6) 小冊子について

- ・ 前回決定事項（書式、表現、ボリュームについて）の再確認
- ・ 前回事務局預かりとなっていた小冊子の方向性の確認につき、12/20(水)に開催された総括委員会・運営会議の場で報告。（了解事項及び役員からの意見等については、第9回配布資料「小冊子の方向性について（メール文章）」参照）

【小冊子作成に際して】長嶋様（ワンビシアークイブズ）

- ・ 小冊子に関するレスポンスが少ない。「小冊子作成には皆様のご意見・議論が必要であり、メーリングリスト等・Yahoo ポータル（ブリーフケース）等をご活用の上、積極的に参画して欲しい」。
- ・ 次回分科会までに、A・B・C グループの資料を纏めて雰囲気をつめるレベルを目指す。
- ・ 本日報布のテキスト案 / 下記小冊子作成に関する皆様よりのご意見を参考の上、具体性を持たせる部分等を検討し、引き続きリーダーを中心として各グループにて検討する。
- ・ 具体的なイメージ、過去事例、活用できるイラストを募集していることをメンバーに依頼。ただし、イラストに関しフリーソフト等を活用する際には、著作権等の問題に留意する必要がある（出展元の記載等も考える）。

【B グループ】羽仁様（大和ハウス工業）

小冊子作成に関する皆様からのご意見

- ・ 被害想定を地震に絞る点について
具体性を持たせた方が訴求力はあると思われる点で、広域災害である地震を載せるのは良い。いろんなリスクを載せると小冊子に納まらない。地震以外、他にもいろんなリスクがあることを補足しておけば良い。
リスクの前提がないと対策が打てない。まずは地震に特定して取り組む事については賛成。
ガス漏れ、火災などの災害についても考慮すべき。
- ・ 阪神、新潟での具体事例が欲しい。
- ・ 地震が発生しない可能性が高い地域の方や工場の方も小冊子を読まれることが考えられるが、今回は分かりやすい主なケースを掲載する。
- ・ 本小冊子はマニュアルではないため、規模・ロケーション毎の詳細な対策の記載等は避ける。
「入門編」という位置付けで考えるのが良い。ただし、商業電源が切れる・全員退去等のリアルな事例（現実はどうするかという）を載せ、「怖い」感を読者に与える。
- ・ 具体的なイメージがし易いという観点より、関山副座長が前回ご提出された資料も参考になる。

【Cグループ】木村様（日本ビジネスコンピューター）

小冊子作成に関する皆様よりのご意見

- ・役員よりのアドバイスで個人情報保護の観点を考慮とあったが、最低限のセキュリティはかけるといふ補足（吹き出し）程度で良いと思われる。
- ・p1-p2の間で、「どう困ってしまうか」、「どういう結果になるか」という話が抜けている。
「請求書・売り上げデータが消えてしまう、復旧にどれくらいかかる」といった話があると分かりやすい。例えば、「締め日直前でメールが止まってしまう」等の具体的な問題を記載するのが良い。
- ・情報システムの消失という表現があるが、経営者が情報システムを理解していないケースが考えられる。イメージを湧かせるため、情報システムとは何を指すのか、といった基本的な説明等も必要と思われる。また、バックアップといっても、一般に「バックアップ = CDに残す」という程度の認識かもしれないので、その辺りも意識する。
- ・表現については、「現状このようなことになっていませんか」「データをこのような場所においていませんか」という、問いかけるようなスタイルが良い。
- ・ホットスタンバイやコールドスタンバイという表現で今回の冊子に説明を入れる必要はないのではないか。専門的でとっつきにくい。
- ・初級テキスト記載のように、データに焦点を当てて説明するのも良いと思われる。

(7)その他連絡事項

- ・ 幹事の持ち回りについて【お願い】
第12回(4月)以降開催予定の分科会の幹事を募集します。
場所をご提供頂ける方は事務局まで連絡願います。

3. 次回会合

開催日： 2007年 2月 8日(木) 18:00～

次回幹事： 日本アイ・ビー・エム株式会社

会場： 〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

日本アイ・ビー・エム 箱崎事業所 8階 C S C 815 セッションルーム

注) セキュリティの都合上、事前登録が必要になります。また当日は 18 時前に1F ロビーに一旦お集まり願います。

(ご参考)今後のスケジュール

	「開催日」	「開始時間」	「幹事」
第10回	2007年2月8日(木)	18:00～	日本アイ・ビー・エム
第11回	2007年3月8日(木)	15:00～	大成建設
中間報告(日程未定)			
第12回	2007年4月5日(木)	18:00～	
第13回	2007年5月10日(木)	15:00～	
第14回	2007年6月7日(木)	18:00～	

開催月により開始時刻が変わります(奇数月は15時開始、偶数月は18時開始)。ご注意ください。

4. その他： <欠席者リスト(敬称略)> 29名

(情報システム分科会)

五十嵐 健二 (株)リスク・マネッジ
伊藤 壽朗 (株)イ・ステムコミュニケ - ションズ
今井 雅文 沖電気工業(株)
折笠 秀明 富士通(株)
川口 正起 大和ハウス工業(株)
木村 公秀 EMC ジャパン(株)
小林 重樹 (株)日立製作所
小森 國隆 ソフトバンク BB(株)
齋藤 孝行 富士火災海上保険(株)
高橋 良治 (株)CSKシステムズ
高屋 正裕 日本電気(株)
財部 透 アビームコンサルティング(株)
中西 弘英 みずほ証券(株)
中村 全孝 沖電気工業(株)
藤原 史人 (株)プロティビティジャパン
本間 直哉 (株)シーイーシーソリューションズ
前田 耕一 日本ユニシス(株)
松永 文彦 大成建設(株)
森原 徳一郎 銀泉保険コンサルティング(株)
山越 清隆 アビームコンサルティング(株)
山下 晋也 日本アイ・ビー・エム(株)
吉田 博彦 伊藤忠エネクスサポート(株)

(バックアップオフィス分科会)

井上 和仁 (有)井上企画
植村 明生 みずほ証券(株)
笠原 誠 大成サービス(株)
國井 孝昭 日本アイ・ビー・エム(株)
佐藤 茂夫 日本ユニシス(株)
角田 光弘 (株)日立製作所
三友 和雄 大成サ - ビス(株)

以 上

1. 会合概要

- (1) 開催日：2007年2月8日(木) 18:00～20:10
- (2) 場所 所在地：東京都中央区日本橋箱崎町19-21
会場名：日本アイ・ビー・エム株式会社 815
- (3) 今回幹事：日本アイ・ビー・エム(株)
- (4) 今回進行役：向井 健太郎 富士通(株)
- (5) 議事録作成：大塚 純一 日本アイ・ビー・エム(株)
- (6) 出席者数・氏名：15名

<出席者リスト(敬称略)>

向井 健太郎	富士通(株)	分科会事務局
砂原 健利	富士通(株)	分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一	日本アイ・ビー・エム(株)	副座長
折笠 秀明	富士通(株)	
高屋 正裕	日本電気(株)	
木村 義昭	日本ビジネスコンピューター(株)	
小澤 仁	日本アイ・ビー・エム(株)	
永江 豊	(株)日立製作所	
長嶋 和広	(株)ワンビシアーカイズ	
山本 匡	(株)損保ジャパン・リスクマネジメント	
内田 浩	(株)株式会社アイアイジェイテクノロジー	

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介	大成建設(株)	副座長
池田 竜隆	(株)ワンビシアーカイズ	
川村 丹美	(株)シーエーシー	
羽仁 洋	大和ハウス工業(株)	

2. 議事内容

(1) 配布資料

- 1) 第10回会合 アジェンダ
- 2) 分科会メンバーリスト
- 3) 前回議事録(第9回)
- 4) アンケート関連資料
- 5) 小冊子案(長嶋様)
- 6) 小冊子案(木村様)
- 7) 小冊子案(BCAO 紹介ページ案)

(2) 会員メンバーについて

・活動人員計：47名(2月8日時点) (配布資料2)

・新規参加者のご紹介

<情報システム分科会>

内田 浩 様(株式会社アイアイジェイテクノロジー)

(3) 運営会議の報告について 事務局報告事項

・初級管理者試験について

日程：東京会場：2/25(日)、大阪会場：3/3(土)

応募状況：東京：350名・大阪：120名(既に定員に達したため、応募は締め切り)

・中小企業ステップアップガイド案の扱いおよび関係分科会の設置について

地域振興分科会とセミナー分科会を統合するという話が持ち上がっていたが、今回統合はせず、地域振興分科会を中小企業ガイドラインの整備・拡充する役割を担うこととした。

(4) プレゼンテーション 川村様(株式会社シ・エ・シ)

「本社機能移転の選択と判断」

概要：川村様をご担当された4社の事例を基に、各社におけるバックアップ状況等を比較した資料のご紹介。

(質疑応答)

質問：緊急時における責任者(社長)への夜間・休日の連絡先はどのようにされているか。

回答：4社のうち1社のみ、社長の自宅・オフィスに衛星電話を設置しており、そこから連絡をとるようになっている。

質問：本社機能の定義とは何ですか。

回答：指揮命令機能があるところを本社機能としている。

質問：BCP策定に際し、災害発生時刻は日中・夜間のどちらを想定しているか。

回答：4社のうち2社が、日中・夜間の両方を想定している。

質問：各社への監査は行なわれているか。

回答：海外にある本社からの監査が行なわれているが、取り組み全般に関する報告文書を提出するレベル。訓練に立ち会うといったレベルではない。ただし、訓練は日本語・英語の両方で行なっているケースがある。

質問：システムに依存せず、人手に頼る作業が多い(=紙が多い)という会社があるが、紙に対するバックアップ体制等はどのようにしているか？

回答：スプリンクラーの誤作動などを想定してキャビネットへの保存等を行なっている程度で、紙に対するバックアップ対応は特に講じていない。

質問：「震度に応じBCP体制をとる」という会社があるが、災害対策本部の設置とBCP発動が同時に行なわれるということか。

回答：公共の報道による震度を判断の基準とし、例えば震度6強以上であれば災害対策本部は自動設置とするが、震度6弱以下であれば災害対策本部が指揮をとって被災状況を確認し、その災害の状況に応じBCPを発動するかどうかの判断を行なう、などというような体制としている。

質問：社員の安否確認とはどのような方法で実施しているか。

回答：携帯メールの使用・部門長への電話連絡、被災地以外の拠点を中心に行なう確認という方法

をとっている。

質問：優先順位として通常だと決済機能をいち早く検討すると思われるが、何故記載がないか。

回答：これらの会社は一樣に、決済機能の復旧は緊急度から見て優先度が低いものという判断を下している。被災時に決済のニーズが発生した場合には決済情報は紙に控えておき、システムが復旧してから情報を打ち込む等の対応により問題はないと考えている。

質問：「製品の発送」について優先順位を高くしている会社があったが、その背景とは何か。昨今は製品の発送には情報システムが不可欠と言える。

回答：この企業は、医療品を扱う会社で、人の命を預かる事業に関わる企業として、社会的責任を果たすことに重点を置いている。「この薬がないと患者さんが死んでしまう」「他社製品では代替できない薬である」などという評価軸で優先度の高い薬を選定し、その薬については情報システムには頼らず手動で出荷手続き等を行い、社員が車や電車で届けるというアナログな方法をとってでも発送できる仕組みを検討している。また、非常事態でもすぐ発送できるよう薬の備蓄についても検討している。

(5) アンケートについて 事務局が代理報告

- ・土橋様にて皆様のご意見をとりまとめ、最終案を事務局へ送付。(配布資料4)
- ・送付対象はBCAO法人会員、法人賛助会員、法人に属している。個人会員(*1)の207社(1社1通)。
(*1)個人会員については申請書の宛先を法人としている会員にのみ送付。
- ・発送/回答の集計手続きは今回に限り、BCAO事務局にて暫定で対応する(調査分析委員会では手が回らないため)。
- ・ITBO分科会が担当したアンケート部分についてはITBO分科会が自ら必要とするものであるため、対象部分についてはいち早く入手し、分析できるよう1/29(月曜)の運営会議にて依頼済。

(6) 小冊子について

<前提>

Aグループ案：冒頭説明ページ、BCAO紹介ページ等
(担当：座長、副座長、事務局)

Bグループ案：バックアップオフィスに関わる説明部分
(担当：バックアップオフィス分科会メンバー)

Cグループ案：情報システムに関わる説明部分
(担当：情報システム分科会メンバー)

<進捗状況の概要報告> 長嶋様(株式会社ワンビシアーカイブズ)

- ・Bグループ案・Cグループ案の内容がある程度固まってきたことを踏まえ、全体構成を検討した。その際、必要に応じAグループ案・Bグループ案・Cグループ案において重複している箇所等の見直しを行った。
- ・まだ小冊子に関する皆様からの意見が少ない。引き続き、積極的に参加してもらうことを訴えていく。
- ・Bグループ案・Cグループ案の中では、各ページに「ポイント」を用意し要点をまとめ、最後に全体としての「まとめ&提言」のページを設け総括する形を検討している。
- ・次回分科会前にAグループ案・Bグループ案・Cグループ案の資料を纏め、皆様よりの意見を伺う(完成レベルを目指す。)

- ・本日皆様のご意見を参考の上、引き続きリーダーを中心として各グループにて検討する。

小冊子作成に関する皆様からのご意見

- ・「ポイント」に記載する内容としては、具体的な例を盛り込むことが望ましい。
- ・小冊子の流れの中で、つなぎ／息抜きという位置付けで「ポイント」を活用する方法もある。
- ・Bグループ案・Cグループ案にはハードの対策は記載されているが、文書化・訓練等の実施といったソフトの対策を記載するのも効果的ではないか。
- ・企業リスクという表現は、風評リスク、吸収合併リスク、為替リスク等幅広い概念で捉えられてしまうため、固定の事象に定め、具体的な災害のイメージを持ってもらうようにする。
- ・本小冊子の作成に際しBグループ・Cグループで分担しているが、重なっている部分が発生している。Bグループ・Cグループで発生する事象は分けるにしても、対策については一緒に記載しているのではないか。
- ・5章／7章の地震が起こった際に考えられる事象の部分ではロジカルに説明し、4章／6章の対策を講じる部分では詳細に書かず、具体例等も盛り込み感情的に驚かすような記載とし、読者に気付きを与える書き方が好ましい。
- ・表紙に「大規模地震編」等のサブタイトルを追加するとイメージしやすい。
- ・表紙下段には「情報システム・バックアップオフィス分科会」と入れる。

(7) その他連絡事項・提案事項

- ・プレゼンテーションについて

次回プレゼン発表者の立候補をお願いした際、皆様の知り合いの方で事例発表できそうな方がいればご紹介頂きたい旨事務局より通知。

出席されないメンバーの参加を促すための1案として、未出席メンバーにプレゼンを依頼する方法が挙げられた。

- ・分科会幹事の役割について

分科会幹事の役割につき、場所貸と議事録作成の役割を分担することにより幹事の負荷を軽減する案が挙げられ、採用させて頂くこととした。

3. 次回(第11回)開催予定について

- ・開催日：2007年3月8日(木)15:00～
- ・次回幹事：大成建設株式会社
- ・場所 所在地：東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル

大成建設株式会社本社 18階会議室 102号

URL：http://www.taisei.co.jp/about_us/corp/branch/domestic/honsya.html

【入館方法】

- ・17階総合受付にて、受付の者にお伝えください。
「事業継続推進機構 情報システム・バックアップオフィス分科会」「18階 会議室102号室」
- ・受付後、恐れいりますがエレベーターにお乗りいただき18階102号室までお起こし下さい。

4. 今後の開催予定について

	『 開催日 』	『 開始時間 』	『 幹事 』
第 11 回	2007 年 3 月 8 日 (木)	15:00 ~	大成建設
中間報告 (4/11)			
第 12 回	2007 年 4 月 5 日 (木)	18:00 ~	
第 13 回	2007 年 5 月 10 日 (木)	15:00 ~	
第 14 回	2007 年 6 月 7 日 (木)	18:00 ~	

開催月により開始時刻が変わります (奇数月は15時開始、偶数月は18時開始)。ご注意ください。

第12回 (4月) 以降開催予定の分科会幹事を募集しております。場所をご提供頂ける方は事務局までご連絡願います。

5. その他: < 欠席者リスト (敬称略) > 32 名

(情報システム分科会)

伊藤 毅	富士通(株)	座長	本間 直哉	(株)シーイーシーソリューションズ
五十嵐 健二	(株)リスク・マネッジ		前田 耕一	日本ユニシス(株)
伊藤 壽朗	(株)イ・ステムコミュニケ・シヨンズ		松永 文彦	大成建設(株)
今井 雅文	沖電気工業(株)		森原 徳一郎	銀泉保険コンサルティング(株)
川口 正起	大和ハウス工業(株)		山越 清隆	アビームコンサルティング(株)
木村 公秀	EMCジャパン(株)		山下 晋也	日本アイ・ピー・エム(株)
小林 重樹	(株)日立製作所		吉田 博彦	伊藤忠エネクスサポート(株)
小森 國隆	ソフトバンクBB(株)			
齋藤 孝行	富士火災海上保険(株)			
高橋 良治	(株)CSKシステムズ			
財部 透	アビームコンサルティング(株)			
土橋 直通	エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)			
中西 弘英	みずほ証券(株)			
中村 全孝	沖電気工業(株)			
藤原 史人	(株)プロティビティジャパン			

(バックアップオフィス分科会)

市村 健一	富士通(株)	三上 上	富士ゼロックス神奈川(株)
井上 和仁	(有)井上企画	三友 和雄	大成サ・ビス(株)
植村 明生	みずほ証券(株)	山浦 政弘	日本アイ・ピー・エム(株)
笠原 誠	大成サービス(株)		
國井 孝昭	日本アイ・ピー・エム(株)		
佐藤 茂夫	日本ユニシス(株)		
角田 光弘	(株)日立製作所		

以上

情報システム分科会、バックアップ・オフィス分科会 第11回議事録

1. 会合概要

(1)開催日：2007年3月8日(木) 15:00～19:00

所在地：東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル

大成建設株式会社本社 18階会議室 102号

(2)今回幹事：大成建設(株)

(3)今回進行役：向井 健太郎 富士通(株)

(4)議事録作成：関山 雄介 大成建設(株)

(5)出席者数・氏名：11名

<出席者リスト(敬称略)>

向井 健太郎 富士通(株)

分科会事務局

砂原 健利 富士通(株)

分科会事務局

(情報システム分科会)

大塚 純一 日本アイ・ビー・エム(株)

副座長

木村 義昭 日本ビジネスコンピューター(株)

永江 豊 (株)日立製作所

長嶋 和広 (株)ワンピシアーカイズ

山本 匡 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント

(バックアップオフィス分科会)

関山 雄介 大成建設(株)

副座長

池田 竜隆 (株)ワンピシアーカイズ

市村 健一 富士通(株)

羽仁 洋 大和ハウス工業(株)

2. 議事内容

(1)配布資料

1)第11回会合 アジェンダ

2)分科会メンバーリスト

3)前回議事録(第10回)

4)分科会 活動報告書(案)

5)プレゼン発表履歴一覧表

(2)分科会メンバーについて

・退会

<バックアップオフィス分科会>

國井 孝昭 様(日本アイ・ビー・エム株式会社)

・分科会メンバー計：46名(3/8時点) (配布資料2)

(3) 運営会議の報告について 事務局報告事項

幹事の創設について

幹事：横断的な活動を担うポストを創設予定

分科会下部組織（WG）の設置について

分科会の配下にWGを設置する予定であり、設置基準を検討。

法人活動枠の拡大について

法人活動人数の拡大に際しての規約を検討。既存の法人会員に口数を追加（1口/10万10名）する方法となる予定

資格会員制度の創設について

既存の会員とは別に、新たに試験資格のみの取得を目的とした資格会員を設置することで合意が取れている（正式には総会で議決）。会費は1万円で3年間有効となる見込み。

標準テキストの更新について（初級テキスト内容の反映）

初級テキストの作成に伴い、限定的に標準テキストの更新（反映）を行なう予定。同じテーマで内容が違うページ・箇所を修正予定

BCAO中間報告会の開催について

06年度の各委員会・分科会活動報告の場として中間報告会の開催

日付：4/11（水）午前中：中間報告会、午後：BCAOアワード表彰式、発表会

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

(4) 中間報告会について 事務局報告事項

- ・中間報告会での発表予定資料につき、事務局にて作成したドラフトをレビュー
- ・分科会での協議した結果を事務局にて修正のうえ、分科会メンバーに配付予定
3/26の週前半に配付し、3/30（金）までにご意見を頂戴する予定

報告書作成・準備に関する事項

- ・中間報告で使用するBCAO所定のフォーマットはなし（次回運営会議で協議）
- ・各分科会における活動の報告時間は10分
- ・印刷費には各分科会に割り振られた活動費10万を使用する予定
- ・印刷部数は事務局にて現在検討中

内容に関する意見

- ・06年度活動の成果物として具体的な資料を載せることが望ましい（現状ベースで問題なし）
- ・章立ての構成につき、1-(4)「主な活動内容」を2章に格上げする。
- ・活動目標に対する実績はどうだったかの評価を冒頭部分「はじめに」に記載する。
（その他、今後の活動に関する議論を実施。内容については（8）を参照）

(5) アンケートについて 事務局が報告

現状

- ・2月末に回答期限を設けたアンケートにつき、集計結果について別途フィードバックを予定
（集計結果状況についてBCAO事務局へ確認）
- ・07年度の取り組みとしては「1部・2部・上場企業等、宛先の検討」、「成熟度が測れるアンケートとするため、定期的なアンケートの実施ができる仕組みの検討」とする。
- ・2月に実施したBCAOアンケートに関し、質問内容の更なる精査が必要であると感じられる。
再度アンケートの内容をご確認頂き、修正箇所等がある場合、事務局へご連絡頂きたい。

内容に関する意見

- ・アンケート事業を拡大する場合、管理要員はもちろん、ドキュメント・サーバー等の事務管理が

発生する。その対応等も含め今後の活動内容を検討する必要がある。

- ・本アンケートは企業の脆弱性を扱うため、情報管理の徹底が必要である。
- ・今後、アンケートをWGにするか分科会全体でやるかの検討が必要

(6) 小冊子について

進捗状況の概要報告 池田様（株式会社ワンビシアーカイブズ）

- ・小冊子リーダー
 - ・前回分科会での議論・ご意見を基に、小冊子A・B・Cリーダーにて1冊の小冊子にまとめている。
 - ・山本様（株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント）がご用意された案が提出され、今回2つの案を併せてレビュー
 - ・本日の分科会での意見を反映した修正案をポータルに登録する。各自修正案を確認のうえ、ご意見を頂戴したい。
 - ・3/27（火）までに登録し、4/2（火）までに皆様よりご意見を頂戴する予定
- 内容に関する意見
- ・大地震に見舞われた際の起こり得る事象について、先に身の回りに起こる現象を記載し、その後ライフライン等広域の起こり得る事象とする並びとする。
 - ・「生命の安否確認」等の優先すべき対策は、始めに記載する等の優先順位付けが必要
 - ・「減災対策」と「バックアップ対策」の切り分けが難しい。
 - ・「消化ガス」等、広く扱われていない事例は記載しないことが望ましい。

(7) その他連絡事項について

- ・プレゼンテーション資料の取り扱いについて（配布資料5）
Y A H O O ! ポータルに登録されたプレゼンテーション資料の取り扱いにつき、規約に関して了解し、各自遵守頂きたい旨を案内
- ・次回中間報告の直前ということもあり、中間報告書および小冊子の作成に注力する。
（プレゼンテーションの発表は第13回（5/10（木））に実施予定。

(8) 07年度の活動について

- ・プレゼンの発表方法につき、カテゴリ別・課題毎に分けるという観点を設けて話すのがよい。
- ・分科会活動全般については基本的にはGive And Takeの精神にのっとり、分科会委員による情報共有を図りたい。

3. 次回（第12回）開催予定について

開催日：2007年4月5日（木）18:00～

次回幹事：富士通株式会社

会場：富士通ソリューションスクエア

S棟（ソリューション棟）3階 S-R316

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25

地図 <http://jp.fujitsu.com/facilities/solutionsquare/>

入館方法：正面入口のエスカレータ（階段）ご利用にてS棟2階受付にお越し下さい。

受付にて入館カードをお受け取り後、3階S-R316にお越し願います。

4. 今後の開催予定について

	「開催日」	「開始時間」	「幹事」	
			「場所」	「議事録」
第12回	2007年4月5日(木)	18:00～	富士通	
第13回	2007年5月10日(木)	15:00～	シーエーシー	
第14回	2007年6月7日(木)	18:00～		
第15回	2007年7月5日(木)	15:00～		

開催月により開始時刻が変わります（奇数月は15時開始、偶数月は18時開始）。ご注意ください。
 今後開催予定の分科会幹事（場所貸と議事録作成）を募集しております。ご担当頂ける方は事務局までご連絡願います。

5. その他： <欠席者リスト(敬称略)> 35名

（情報システム分科会）

伊藤 毅	富士通(株)	座長	土橋 直通	エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社
五十嵐 健二	株式会社リスク・マネッジ		中西 弘英	みずほ証券株式会社
伊藤 壽朗	株式会社イ・ステムコミュニケ-ションズ		中村 全孝	沖電気工業株式会社
今井 雅文	沖電気工業株式会社		藤原 史人	株式会社プロティビティジャパン
内田 浩	株式会社アイアイジェイテクノロジー		本間 直哉	株式会社シー・イー・シー・ソリューションズ
折笠 秀明	富士通株式会社		前田 耕一	日本ユニシス株式会社
川口 正起	大和ハウス工業株式会社		松永 文彦	大成建設株式会社
木村 公秀	EMC ジャパン株式会社		森原 徳一郎	銀泉保険コンサルティング株式会社
小澤 仁	日本アイ・ピー・エム株式会社		山越 清隆	アビ-ムコンサルティング株式会社
小林 重樹	株式会社 日立製作所		山下 晋也	日本アイ・ピー・エム株式会社
小森 國隆	ソフトバンク BB 株式会社		吉田 博彦	伊藤忠エネクスサポート株式会社
齋藤 孝行	富士火災海上保険株式会社			
高橋 良治	株式会社CSKシステムズ			
高屋 正裕	日本電気株式会社			
財部 透	アビ-ムコンサルティング株式会社			

（バックアップオフィス分科会）

井上 和仁	有限会社井上企画	三友 和雄	大成サ-ビス株式会社
植村 明生	みずほ証券株式会社	山浦 政弘	日本アイ・ピー・エム株式会社
笠原 誠	大成サ-ビス株式会社		
川村 丹美	株式会社シー・エ-シー-		
佐藤 茂夫	日本ユニシス株式会社		
角田 光弘	株式会社日立製作所		
三上 上	富士ゼロックス神奈川株式会社		

以上